

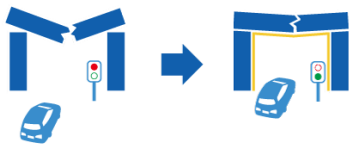
タフネスコート工法

出展者名：清水建設株式会社

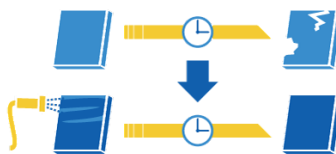


タフネスコート工法は、コンクリート構造物の表面にポリウレア樹脂を吹付けることで、構造物に必要な機能を保持し長寿命化を図る技術です。【土木学会技術評価 第0026号】施工後に下地コンクリートの状況が確認できるタフネスコート工法「クリア」を新たに開発しました。

機能保持



長寿命化



維持管理の合理化



タフネスコート工法 4つの機能

落ちない（剥落防止）



トンネル覆工／高架橋床版など

漏水しない（貯水性向上）



上水用配水池／防火水槽など

劣化しない（耐久性向上）



栈橋／港湾構造物など

倒れない（耐衝撃性向上）



道路の壁高欄など

タフネスコート工法 施工手順

①下地処理

ウェスやディスクサンダー等で、塗布面の清掃を行います。



②プライマー塗布

タフネスコートとの接着性を向上させるため、ハケやローラでプライマーを塗布します。



③専用装置による吹付け

吹付け後、瞬時に硬化するため、液ダレは発生しません。



新開発 タフネスコート工法「クリア」

「クリア」専用のポリウレア樹脂は、従来にはなかった透明性と低黄変性を有しています。このため、施工後も下地コンクリートの状況を確認でき、維持管理が容易になります。

ポリウレア樹脂	強度	伸び	透明性	黄変性	着色
クリア専用	15N/mm ²	400%	高い	低い	不要
従来工法用	20N/mm ²	200%	低い	あり	要



クラックスケールに「クリア」を施工した状況